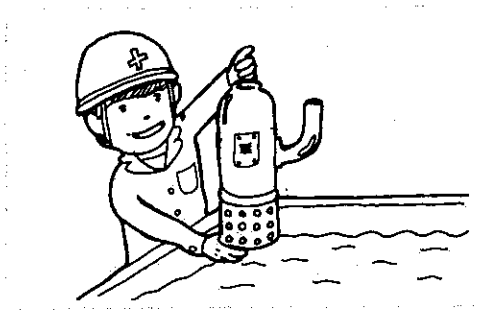
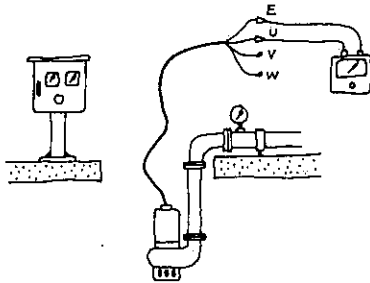


■ 水中ポンプの据付および保守管理のポイント



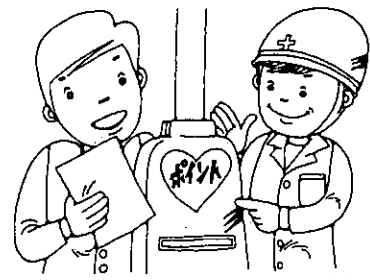
〈ポンプ据付時〉

- ポンプ据付槽内は工事後に残ったコンクリートの塊・石などで羽根やケーシングを破損したり、木片などで吸い込み口をふさがないように必ず清掃してください。
- キャブタイヤケーブルを延長する場合は、ケーブルの許容長さにしたがって延長してください。
- アースは必ずとってください。



〈ポンプ始動時〉

- 配線・絶縁抵抗の確認
- ポンプ据付状態の確認
- 回転方向の確認（正回転では逆回転より圧力が大、電流が小です）



〈ポンプ運転中〉

- 運転中の電流・圧力の変化によって、異物のかみ込みなどによる過負荷などの異状をチェックしてください。
- 定められた運転水位を守ってください。



〈日常点検〉

- 左表のような項目の記録をとってください。絶縁抵抗が $1\text{M}\Omega$ 以下の場合、あるいは急激な低下を示して安定しない場合などは異常ですから原因を調査してください。
- 予備機がある場合は予備機の試運転も忘れずに行ってください。



〈定期点検〉

- 日常点検の記録や運転状態によって定期的に引き上げて点検、修理、摩耗部品の交換の必要があります。
- 定期点検は1日8時間以内の運転で年1回以上の点検、1日8時間以上の運転および高濃度の汚泥を扱う場合には、半年に1回以上の点検が必要です。